

ほけんだより 9月号

令和5年9月
浦和いろは保育園
看護師 坂井田

まだまだ残暑が続いています。元気いっぱい夏を過ごした子どもたち。夏の疲れが出やすくなる時期なので、ゆっくりお風呂に入り、たっぷり睡眠をとって、体調を崩さないように気を付けましょう。



9月1日 防災の日：もしもの時に備え、非常食や水、ラジオ、懐中電灯などを用意しておきましょう。また、お子さまにも火事の時煙を吸わずに逃げる方法や地震の時は机の下に隠れるなど、日頃から繰り返し話し、緊急時に備えるようにしましょう。



9月9日 救急の日：救急箱の中身を整理しましょう。薬の使用期限やなくなっている薬はないか確認しておきましょう。

◎子どものケガや事故に注意しましょう！◎

年齢ごとにみる特徴的な事故

- ・**0歳**：たばこ・玩具・袋などを「誤って飲み込む」事故、ベッドやソファなどの家具から「落ちる」事故、が多く発生。
- ・**1歳**：1人歩きを始める頃で、階段や椅子、ベッドなどから「落ちる」事故、机・テーブル、その他の家具に起因する「ころぶ」、「ぶつかる」事故が多い。「やけど」にも注意。
- ・**2歳**：椅子や机・テーブルなどの家具類に起因する「転ぶ」事故、自転車の補助イスから「落ちる」事故、手動ドアに「はさむ・はさまれる」事故が多い。
- ・**3～5歳**：階段や机・テーブルで「転ぶ」事故、高いところなどから「落ちる」事故、アメ類や玩具などを「誤って飲み込む」事故も多く発生している。

東京消防庁「救急搬送データから見る日常生活事故の実態」(2020年)

0～6歳の子どもの事故の約40%は、家の中で起こっています。特に命にかかわるのが窒息です。家の中を安心・安全な場所にするために、もう一度チェックしてみてください。

◎子どもの口に入る大きさ（約4cm）の物を周りに置かない。

◎子どもの手の届く場所に置いてはいけないもの：薬、洗剤、たばこ、ポット、炊飯器、包丁などの刃物、針、など。

◎浴室：1人で入れないようにする。一緒に入浴中も目を離さない。

◎ベランダ：踏み台になるようなものを置かない。



お知らせ

○体温記入表について

9月8日でシャワー浴が終了になります。水遊び・シャワー浴期間、ご記入をありがとうございました。9月9日以降、体温記入表は園で保管いたします。

○8月の感染症

新型コロナウイルス感染症、ヒトメタニューモウイルス感染症、アデノウイルス感染症の報告がありました。

○9月の保健行事予定

4日～身体測定
13日 0歳児健診

熱性けいれんが起こったら

熱性けいれん：熱の上り際に多く、突然手足をがくがく震わせ、体を固くつぱり、顔色が悪くなり、白目を向いて意識がなくなります。ほとんどの場合、5分以内に止まります。

◎熱性けいれんが起こったら
けいれんが始まった時間を確認

けいれんの様子を
確認

衣服を
ゆるめる



※体を揺り動かしたり、大声で呼びかけたりせず
時間を見ながら、静かに見守りましょう

◎子どもの様子によっては119番通報する

- ・けいれんが5分以上続く
- ・5分以内におさまったが、意識が戻らない、麻痺が残る、けいれんを繰り返すなどの場合